

ヨミネスしばた

Yominesu Shibata News

議会だより

特集

子育てするなら新発田！
ともに学び、ともに育み、夢天高く



第144号

発行／新発田市議会
編集／広報広聴委員会



県立新発田農業高校・環境科学科草花園芸専攻およびフラワーデザイン専攻の皆さん
(令和4年6月21日・五十公野公園あやめ園)



特 集

子育てするなら新発田！ ともに学び、ともに育み、夢天高く

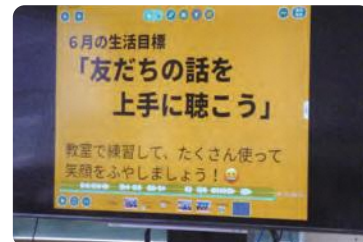
近年、小・中学校の全児童・生徒にタブレット端末が支給されるなど、学校における教育環境が大きく変化しています。

小・中学生の学校生活の様子を取材してきました。

七葉小学校

GIGA スクールの取組み

児童一人ずつに与えられたタブレットと大型テレビを活用して、鉛筆の持ち方や落書き帳（アプリ）を使った図工など、さまざまな教育活動の場面で ICT を活用した授業が展開されている。



Q1.どのようなアプリが使われているんですか

ロイロノートという授業中にインターネットを通して児童同士が情報共有をしながら学習を行うためのアプリを使用しています。児童一人ひとりがタブレットを持ち、そこに示された課題に個人やグループで取り組み、その結果を提出します。その課題を大型テレビに映し出すことで、教室内の全員が共有しながら授業が進められます。操作は直感的で、低年齢層でも容易であり、提出物管理が簡単となり、教師の負担も軽減されます。

Q3.今後の課題は

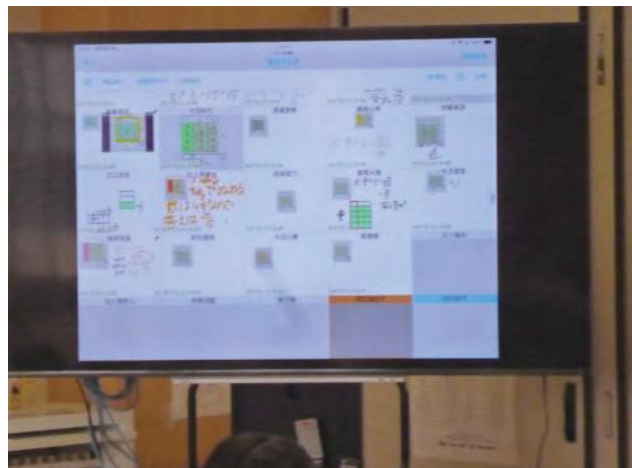
ICT教育で新たな切り口で子どもたちの理解促進に役立っていますが、携わる教師の職務は質・量とも増えているので、研究していかなければなりません。

Q4.課題を解決するためには

マンパワーが必要だと思います。研修を重ねてより良い授業が展開できるようにします。

Q2.苦労されていることは

児童同士の関わり合いが希薄になりがちのため、共同学習を多く取り入れ、関わり合いの機会を増やすなど、配慮しなくてはならないことです。



教師間で習熟度の差はないか心配しましたが、全教師が基本的な部分是对应しており、タブレットはあくまでツールとして ICT をうまく活用していると感じました。

本丸中学校

創立記念行事 参勤交代の道～八里を歩く～

本丸中学校で毎年5月に行われている行事で、全校生徒と先生、保護者が参加している。今年は5月7日(土)に行われ、朝7時に本丸中学校を出発し、チェックポイントである関所(板山・山内・中々山・米倉・五十公野)を経由して終点の本丸中学校を目指して歩いた。

Q1.いつ頃から始められているんですか

本丸中学校は、昭和24年にお城の中に開校しました。昭和27年に今の外ヶ輪小学校の場所に移り、昭和60年に現在の校舎に移り、平成30年に創立70周年を迎えました。

この行事は、現在の校舎に移転する前年の昭和59年に、校舎移転を記念し、全国で唯一の城下町「本丸」を名乗る中学校としてふさわしい行事にしようと始められました。



Q2.参加した生徒たちの様子は

1年生にとっては、32キロを歩くというのは初挑戦という子が多い。生徒それぞれに目標があり、完歩目指して歩いています。早い生徒で午前10時半頃にゴールし、最終で午後5時には全員帰ってきます。

Q3.苦労されていることなどは

安全に行事を行う上でのボランティアスタッフの確保です。

PTAの役員の方や、保護者の方々、地域の方にもお願いして、主要な交差点などに立っていただいています。



「本丸」の名の重みを生徒一人ひとりが感じとり、各々の目標を設定し完歩目指して歩いている姿に感動しました。長年続いているこの行事の中で、授業では学べない大きなものを学んでいるように見えました。

猿橋中学校

しばたの心継承プロジェクト

猿橋中学校の特色ある取組みとして、「地域貢献活動」がある。これまで、震災の募金活動やアフガニスタンへのランドセル寄付活動、住吉町花壇の管理、ゴミステーションの除雪など、様々な取組みを展開してきた。

Q1.今年度の活動は

地域貢献活動として、総合的な学習の時間を使い、自分たちで考えた学区内地域清掃活動やランドセルを集めて海外に送る活動などをしました。

Q2.今回の活動は

今回の清掃活動は、学区内の公園、リリオやすらぎ公園、瑳玖良(さくら)公園を中心に学校からの道中の道路を含めゴミ拾いを行い、45Lゴミ袋7袋分を集めました。



Q3.苦労した点は

また、小さい頃から慣れ親しんだ公園内の遊具の点検も行い、地域に対し感謝の気持ちを込めて活動しました。

Q3.苦労した点は

公園までの沿道にタバコのゴミが結構落ちていたことです。

Q4.今後はどのような活動を

イオンなどの市民に目につく所での貢献活動などをやってみたいです。



生徒さんの反応を見ても、自らの活動に対してだけでなく、遊具を使用する子どもたちへの配慮や、地域への関心を深め、地域への愛着を深める心の継承プロジェクトにふさわしい活動と感じました。今後も自ら実践する様々な地域貢献活動に対し期待したいと思います。

新発田の学校教育

新発田市は、まちづくり総合計画において、「住みよいまち日本一 健康田園文化都市・しばた」という将来都市像の実現に向け、教育に関する施策を展開します。

市の取組み

年	概要
令和元年	小・中学校普通教室へのエアコン設置
令和2年	しばたの心継承プロジェクト開始
令和3年	小・中学生1人1台タブレット端末配備
	小・中学校特別教室へのエアコン設置
令和4年	小・中学校体育館の照明器具落下防止対策
	小・中学校体育館の吊り下げ式バスケットゴール更新



議会の取組み

議会は、子どもたちがより良い環境で学べるよう、国への意見書提出、代表質問、一般質問、委員会質疑などで、教育行政に対し提案をしてきました。

会派代表質問（令和元年～）	社会文教常任委員会行政視察（令和元年）
ICT教育の推進について	ICTを活用した教育推進について（東京都日野市）
学校統廃合に関連する課題について	
教員の働き方について	幼保小中の教育連携について（埼玉県草加市）
ほか	
一般質問（令和元年～）	意見書提出（令和元年～）
小・中学生の登下校の安全対策について	30人以下学級実現と義務教育費国庫負担2分の1復元を求める
GIGAスクール構想、ICT教育について	
学校施設改修について	
「しばたの心継承プロジェクト」について	
CAPプログラムについて	
新型コロナウイルス感染症対策について	
不登校児童・生徒について	
学校給食について	ほか



これまで議会では、多くの学校教育に関する議案を審議してきました。新発田の子どもたちがより良い環境で学べるよう、議会としても応援していきたいと考えています。



ひとが第一、ひとが大事 新発田の教育

【目指す子どもの姿】 新発田への愛着と誇りをもち、夢や希望に向かって、学び続ける子ども

「新発田市授業スタンダード」を活用した、
明確な単元デザインによる主体的・対話的で深い学びの実現

学びに向かう力、
人間性等の涵養

知識及び
技能の習得

思考力・判断力・
表現力等の育成

知

- 課題をよりよく解決しようとする主体的に学ぶ態度の育成

- 言語活動（聞く・話す・読む・書く等）の充実を図り、情報を精査して考えを形成したり、思いや考えを基に創造したりする力の育成

徳

- いじめをしない、許さない、自他の命を大切にしようとする心の育成

- 自己を見つめ、多面的・多角的に考え、議論する道徳科を要とした、自他共により善く生きるための主体的な判断力の育成

体

- 運動に親しむとともに、健康で安全に過ごすために進んで取り組もうとする態度の育成

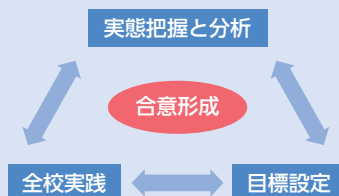
- 運動や健康、安全、自然災害に対する正しい知識や技能を基に、体力や健康の保持増進や命を守るための実践的な力の育成

特別支援教育

- 一人一人の自己実現に向けた計画的な指導と支援の充実

組織による実践

- 合意に基づいた実践サイクルの実施



- いじめ、不登校、問題行動等について、職員間の情報共有と全校体制による即時対応、それぞれの背景や心情の理解に目を向けた対応と、関係機関との連携による継続的な支援

幼・保・こども園から
中学校までの円滑な連携

ふるさとへの愛着と誇りを育む「しばたの心継承プロジェクト」

- 新発田のよさやそこに携わる人の思いを知り、それらを大切に、かかわろうとする心や態度の育成
- 新発田の歴史、文化、自然、産業、福祉等に関する体験的な学びの工夫
- 文化行政課・青少年健全育成センター・中央図書館・歴史図書館・各地区公民館・あかたにの家等、市の社会教育機関との連携

自立の基礎を培う幼児教育

- 「育みたい資質・能力」や「育ってほしい姿」を踏まえた学びと生活の連続性を図る教育課程の編成
- 友達とのかかわりを軸とした教育活動による、身の回りのことに意欲的に取り組む子どもの育成

道学共創を理念とした特色ある新発田の教育

人権感覚を高める「人権教育、同和教育」

- 同和教育の視点に立つ教育の推進（「かかわる同和教育」の実践）
- 人の心の痛みが分かり、差別や偏見を許さない態度を育成する授業づくりの推進

生きる力を育む「食とみどりの新発田っ子プラン」

- 体験的な教育活動を取り入れた食育の推進
- 地場産物を取り入れ、食への感謝や故郷を愛する心を育む学校給食の実施

特色ある新発田の教育を中核にした、社会に開かれた教育課程の編成・実施・評価・改善

4 月臨時会

蔵春閣附帯施設工事の契約を締結しました

● 契約の締結(蔵春閣附帯施設等整備工事)

<総務常任委員会での質疑>

Q 随意契約とした理由は。

A 蔵春閣本体と附帯施設の建物の一体性、現在移築工事で使用している共通仮設設備等をそのまま使うことによる経費の縮減及び工期の短縮、文化財相当の価値を有する建物等の施工実績等のため。



5 月臨時会

子育て世帯及びひとり親世帯に特別給付金を支給します

子育て世帯のうち、高校生までの子どもを養育する、令和4年度住民税均等割非課税世帯、または、児童扶養手当受給者をはじめとするひとり親世帯に対し、児童1人につき5万円を支給します。

<社会文教常任委員会での質疑>

Q 両方の給付金がもらえる世帯はあるのか。

A どちらか一方の給付となり、二重支給はない。



主な議案等に対する賛否の一覧

4 月臨時会	議第 6 号	契約の締結について(蔵春閣附帯施設等整備工事)	賛成多数
5 月臨時会	議第 7 号	新発田市一般会計補正予算第 1 号	賛成多数
6 月定例会	議第10号	新発田市シェアオフィス条例制定について	全員賛成
	議第21号	新発田市一般会計補正予算第 2 号	賛成多数
	議第15号	新発田市一般会計補正予算第 3 号	賛成多数
	議第22号	新発田市一般会計補正予算第 4 号	賛成多数
	議第 9 号	和解及び損害賠償の額の決定について	全員賛成
	議会第 1 号	後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書	否決
	議会第 2 号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元に係る意見書	全員賛成

詳細およびここに記載以外の議案は
市議会ホームページをご覧ください。



4 月臨時会



5 月臨時会



6 月定例会

主なものをご報告します。

6月定例会

原油価格や物価の高騰により影響を受ける農林水産業者に燃油価格高騰対策緊急支援を行います

<経済建設常任委員会での質疑>

Q 今回の支援はどのくらいの規模か。

A 30万円上限で、転作の作付面積3,200haで10a 1,000円、畑作園芸約350haも10a 1,000円、畜産は、畜種に応じて1頭1万円から1羽20円、林業は要件に応じて1ha 1万円、水産業は漁船1隻に対し1万円を支援。

原油価格や物価の高騰により影響を受ける事業者に経済支援を行います

<経済建設常任委員会での質疑>

Q 今回の支援の状況は。

- A ①飲食店の消費喚起と市民の生活支援
・今・得キャンペーン飲食プラン
・今・得プレミアム商品券発行
②運輸・交通関連事業者の支援
・対象車両1台につき10万円を給付
③原油・物価高騰で売上げの減少や収益が悪化した事業者に上限10万円を給付



マイナンバーカードの普及拡大を図るためマイナンバーカードの出張申請を行います

<総務常任委員会での質疑>

Q 全国の普及率は43%だが、市の普及率は。

A 令和4年4月30日現在、38.8%。

Q 商業施設や地域、各職場を回る出張申請をどのように行うのか。

A 商業施設には月1、2回程度で、事業所などには平日、週に何回か出張する予定。



物価高騰による保育園・幼稚園及び小・中学校給食費食材費の値上がり分を補助します

<社会文教常任委員会での質疑>

Q 小・中学校の補助期間はいつまでか。

A 令和4年度の2学期～3学期末まで。1学期分の給食は、既に食材の発注が終了しているため対象としないが、現行の単価の中で学校給食の質、量を落とさない内容の献立になるよう工夫して提供する。



新型コロナウイルスワクチンの4回目接種を行います

18歳以上60歳未満の基礎疾患のある方、60歳以上の方が対象。70歳以上の方は日時会場指定方式、それ以外の方はインターネットまたは市専用コールセンターで予約する方式で実施します。

<社会文教常任委員会での質疑>

Q 18～59歳未満の基礎疾患を有する人の把握方法は。

A 個別医療機関に接種券の申請書を配布してあるほか、電子申請も受け付ける。



株式会社エフエムしばたが経営発展及び情報力発信強化のために新しい代表取締役を選任します

<総務常任委員会での質疑>

Q 代表取締役の役員報酬120万円を市が負担する根拠は。

A エフエムしばたは赤字を抱え体力的に弱く、一方で、市の情報発信機能を担い、災害情報や議会中継など、市民への情報伝達手段として非常に重要であり、大事なコミュニティFMを支えるという意味で負担する。

一般質問

今後の生活 どう変わる？どうなるの？

一般質問とは？

私たちの暮らしに関係する身近で大切な問題について、議員が市長や教育長に直接聞いたり、提案したりしました。

一般質問の内容を動画で視聴できます。市議会ホームページの「議会中継」から「本会議録画配信」を検索するか、スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取りご覧ください。



Q1 アンガーマネジメントの現状と取り組み Q2 小児対象のワクチン接種の現状と課題

◆ 渡邊 葉子 議員



- Q 市職員への活用や効果、今後の取り組みは。
- A 約200人が受講し、業務に活かしている。
- Q 小中学校の教育活動に取り入れてはどうか。
- A 有益と捉え今後も学習・指導を推進していく。
- Q 進捗状況と今後のスケジュールは。
- A 7月末まで特設会場、以降は個別接種へ移行。
- Q 有効性や安全性、副反応への見解は。
- A 専門家の知見から一定の効果があると思う。

- Q 情報提供や副反応の把握はどうか。
- A 広報しばた等を通し周知・把握に努めている。



Q1 ポストコロナの時代への体制について Q2 地域運動部活動の地域移行について

◆ 五十嵐良一 議員



- Q 日常生活や経済活動を取り戻すために、県及び民間病院との連携が感染拡大抑制には重要と考えるが、今後の体制について。
- A 民間病院との連携については新発田北蒲原医師会の参画による情報共有と診察現場で患者への検査や感染予防対策指導の協力を得ている。
- Q 県の部活動改革検討委員会が整備を進める「地域運動部活動」で市教育委員会は部活動

の地域移行にどのように関わり、連携していくのかについて。

- A 部活動を展開する計画や運営法の相談、情報、PTAとの調整や学校への案内等、移行の過程で教育委員会が進めていくことが重要。





Q1 スタディ・ツーリズム(修学旅行)について
Q2 教育環境の充実について

◎ 板倉久徳 議員



- Q** 現在の修学旅行の訪問実績を市長はどう受け止めているか。
- A** 現在の数字に満足はしていない。
- Q** 新発田独自、また定番と言われるような体験プランも充実させてはどうか。
- A** 子どもたちが成人してまた訪れてもらえるきっかけにもなるように進めていきたい。
- Q** 教育には「人の手」がかかるが、市独自で国

の定数外の教員加配はできないか。

- A** 教員を増やしたいが、教員の人数を確保するのも厳しい現実もある。教員ではなくサポートスタッフなど人的増員ができるか検討していきたい。



Q1 産官学民の連携強化と協働推進について
Q2 アクションスポーツの振興について

◎ 小林 誠 議員



- Q** 当市の産学官民の協働推進体制は地域への支援に偏っているように見えるが、現状について。
- A** 地域要望は多いが産学官民のバランスについて大学等と連携したい。
- Q** 中間支援組織を独立した組織にすべきでは。
- A** 地域づくり支援センターを中心に機能させたい。
- Q** まちづくりドラフト会議における提案の事業化について。

- A** 実現可能性のある提案については積極的に取り組む。

- Q** 東京五輪以来、スケートボードの人気の高まっている。練習場所の確保を。

- A** 体育施設周辺等、公共施設での練習は禁止していないが、五十公野陸上競技場前の園路を紹介している。



Q1 コロナ禍の学校給食と食材料費高騰の影響は
Q2 当市の持続可能な農業政策等について

◎ 渡邊喜夫 議員



- Q** 食材料費高騰の対応は。
- A** 必要な栄養価の摂取を前提に安定価格の食材を多く使用。丼ものにするなど献立を工夫。
- Q** 地場産農産物使用率は。
- A** R3年12月末現在39.8%。全国・県平均を上回る。
- Q** 給食は「共食」子どもの育ちを支える機能がある。黙食の現状は。
- A** 感染症対策に全ての学校で実施。

- Q** ウクライナ情勢など世界的に穀物が高騰。肥料、飼料高に農業は不安定化。畜産は厳しい経営だ。

- A** 畜産農家の経営は大きくひっ迫。支援は待たなし。

- Q** 有機農業の推進に有機資源センターのたい肥のペレット化は。

- A** 固形化や粒子化を模索。高品質化を進める。





Q1 感染症拡大に対し今後市長が行うべきこと
Q2 新発田の文化を継承するための提案

青木三枝子 議員



- Q 自宅療養体験からの気づきと行うべきことは。
- A インターネットが利用できない方へ配慮するように県へ提言した。
- Q ワクチン接種後の副反応の原因究明と救済を国へ提言を。
- A 国の調査・審議の段階であり提言しない。
- Q 公立病院の果たす役割は大きいが病院統廃合が進められている。市長の考えは。

- A 県市長会で議論中であり発言は適切ではない。
- Q 五十公野の方の作、新潟弁かると新発田染物職人の手仕事、手ぬぐい等を学校で伝承を。
- A 希望があれば民間業者等が制作した物を図書館に置きたい。手ぬぐい等は学習や体験活動に繋げていけるよう指導したい。



Q1 バイパスを通じた地域経済の活性化について

板垣 功 議員



- Q 五十公野バイパス整備により、農業産地づくり推進事業など戦略的道路として、地域経済の底上げや生活の利便性向上が期待される。歴史文化などの地域資源を生かし「健康田園文化都市しばた」を実現するための、中山間地域の観光振興等の取組みについて伺う。
- A 五十公野バイパスの開通は観光誘客による地域経済の好機である。五十公野地区では新発田藩主溝口家の茶寮、かつて会津街道

の要衝、宿場町として栄えた風情が残る赤谷地区などの歴史的史跡を通じ観光地として人の流れを作り出すことが中山間地振興に繋がる。



Q1 最終章！市教委の事なかれ主義と組織的問題
Q2 男子中学生いじめ自殺事件の市と教委の対応

小柳はじめ 議員



- Q 学校での情報共有があれば自殺を防ぐことができたのではないかな。
- A 学校現場における情報共有についての責任はと言われれば、確かに私はあると思う。
- Q 文科省指針にある被害者への加害者氏名開示をなぜ拒むのか。
- A 新発田市個人情報保護条例に照らし不開示とした。
- Q 加害者有志で手を合わせ遺族に謝罪して区

- 切りをつけることこそが真の教育でないか。
- A 心情的に理解できるが教育長としてそのような場を設ける指示は難しい。
- Q 裁判所の和解勧告拒否は市長の判断か？訴訟指揮は市長か？
- A 訴訟に関する実務は教委だが最終的な判断はいずれも私が行った。





Q1 市民の憩いの場、 都市公園の維持管理と市民参加について

▶ 三母 高志 議員

- Q 平成29年に公園活性化のため都市公園法が改正された。改正都市公園法で謳う利便向上のため関係者による「協議会の設置」を新発田市も検討してはどうか。
- A 市民が公園により親しんでいただくということでは何ら問題ないことから、担当課に他市の事例を含め調査検討を指示する。
- Q 五十公野公園の木道更新の財源確保のため、ガバメントクラウドファンディングを取り

組んではいかがか。

- A 五十公野公園全体の更なる魅力向上のための公園整備の財源であればガバメントクラウドファンディングの活用を検討すべきと認識する。



Q1 旧加治川村地域の過疎対策事業について

▶ 小坂 博司 議員

- Q 市は2月定例会で「持続的発展市町村計画」の作成を明らかにし、「過疎対策に取り組む」としている。市長の過疎対策に取り組む決意は。
- A 令和4年4月、国から「過疎地域」の指定を受けた。「過疎債」をはじめ有利な財源の活用でピンチをチャンスに変える機会と受け止める。
- Q この度、過疎債のハード事業で「再生可能エ

ネルギーを利用するための施設」が追加された。当市の取組みは。

- A 令和3年「新発田市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、脱炭素社会を目指している。導入を検討し過疎債を有効活用したい。



Q1 公共交通の利便性向上には高齢者目線が必要 Q2 飼料や資材の高騰が続く畜産農家に支援を

▶ 宮村 幸男 議員

- Q 豊浦地域の公共交通が運行開始してから半年以上経つが、高齢者乗車数が少ない。乗換えが怖いと言っている。対策が必要だ。
- A 乗車方法の不安解消に、乗り方教室やチラシ配布、それぞれの「マイ時刻表」を作るなど利用促進したい。
- Q 飼料が高騰し市内畜産が危うく支援が必要だ。
- A 畜産農家に燃油価格高騰対策緊急支援を行うとともに国へ対策を求めたい。

- Q 中山間地に有機米作りを発足させた。畦畔の草刈作業に草刈機を購入し貸し出してはどうか。

- A 市が草刈機を購入し貸し出すことは考えていないが国・県の事業活用を促したい。





**Q1 生理用品の「トイレ常設はあたりまえ」に
Q2 学校給食は「無償化」を**

佐藤 真澄 議員

- Q** トイレトペーパーと同じように、生理用品を公共施設に常設を。
- A** ヨリネスしばたとイクネスしばたに試験的に設置する。
- Q** 小・中学校の女子トイレに設置を。
- A** トイレには常設せず保健室で無償配布する。
- Q** 給食費は無償化を。
- A** 無償化を実施した場合、調理場等の運営費を合わせ約8億円以上を恒久的に支出する

ことになり現実的でない。

- Q** 現行制度の第3子無償化は子育て支援になじまない。3人同時に小・中学校在籍という要件を見直せないか。
- A** 要件を見直すと約1千5百万円かかり財政的に困難だ。



**Q1 熱中症から高齢者・子どもたちを守るために
Q2 ゼロカーボンへの取組みについて**

加藤 和雄 議員

- Q** 高齢者の経済的理由によるクーラー未設置状況は。
- A** 把握していないが高齢者現況調査等で把握したい。
- Q** 高齢者や低所得者で、クーラーのない人への設置や高騰する電気代に助成はできないか。
- A** 電気代助成は考えていないが設置助成は現状を把握した上、制度化について研究する。
- Q** 学校での熱中症アラート発表時の対応は。

- A** 放送で周知し、エアコンのある室内で待機するよう指導。
- Q** 体育の授業、登下校時のマスクの対応は。
- A** 熱中症対策を優先した対応。
- Q** 第1回の環境審議会の開催内容は。
- A** 「新発田市環境基本計画」の第2次改定案の審議。



インターネットで生中継します！



市議会ホームページでは、本会議のインターネット生中継を行っています。

パソコンやスマートフォンなどで本会議の様子が視聴できます。また、本会議終了後概ね1週間後には、録画映像も配信しています。

なお、ご視聴の際は、市議会ホームページに掲載の「ご利用案内」等をご確認ください。

本会議の生中継は、本庁舎1階ロビーのモニターでも行っています。
ぜひご覧ください。



議会報告会を開催しました

5月21日に、5会場で計6回、議会報告会を開催しました。

報告会では、令和4年度一般会計予算関係を中心に2月定例会で審議された内容を説明したほか、参加された皆さんと活発な意見交換を行うことができました。

いただいたご意見等は、今後の議会活動に反映させていきたいと考えています。

参加者数 (人)

午前	佐々木コミュニティセンター	6
	健康プラザしうんじ	12
	本庁舎	16
午後	本庁舎	13
	豊浦地区公民館	7
	青少年宿泊施設あかたにの家	9

会場での主な質疑応答

- Q 令和4年度の教育費の歳出が令和3年度と比較して8億円ほど減額しているのはなぜか。
- A 小・中学校の児童・生徒へのタブレット端末の導入やソフト等の費用が令和3年度は多かったため。大規模な校舎改修などにより、年度によって予算の上がり下がりがある。
- Q 土木費の歳出の予算額が50.7億円とあるが、除雪費も含まれるのか。
- A 除雪費も含まれている。
- Q 旧加治川村が過疎地域に指定された。財政支援はあるのか。
- A 令和4年度中に市が実施計画を策定する。国の支援は70%が交付税で補てんされる。



参加者からの主な意見等

- 県外の方もおいでになるので、道の駅加治川で新発田牛を販売してはどうか。
- 間伐材の活用策として、紫雲の郷等でのキャンプのために薪として提供できないか。
- 高齢化により買い物先を遠く感じる。市街地から遠い高齢者はなおさらであるので対応を考えてほしい。



Web 議会報告会を配信しました



6月3日に、動画投稿サイト「YouTube（ユーチューブ）」を利用してWeb議会報告会をライブ配信しました。

当日は午後7時から配信を開始し、令和4年度一般会計予算の内容を中心に説明したほか、コメント機能を利用して視聴者からいただいた公共交通に関する質問に対し、委員全員で回答しました。

ライブ配信をすることで若い方にも議会に興味を持っていただき、コメント機能を使ったリアルタイムの意見交換がしたい、という思いで令和2年度に試行的にスタートしてから今回で4回目。

今後も定期的に配信を続けていきたいと考えています。

ご視聴くださった
皆さま、
ありがとう
ございました！



視察の報告



つなぐ会+小柳はじめ議員 合同実施

まごの店、VISON、スーパーシティ構想について

5月9日

三重県多気町

5月10日

VISION(三重県多気町)



令和会

鳥獣害対策の取組みについて

6月27日 株式会社三生（佐賀県鳥栖市）



吉野ヶ里歴史公園について

6月28日 佐賀県吉野ヶ里町

酒蔵ツーリズムの取組みについて

6月28日 佐賀県鹿島市

議会からのお知らせ

9月定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
9/4	5	6	7	8	9	10
			本会議 (提案理由説明)		本会議 (一般質問)	
		決算審査委員会 (財務課長説明)				
11	12	13	14	15	16	17
	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	常任委員会 (総務)	常任委員会 (社会文教)	常任委員会 (経済建設)	
		議会運営委員会				
18	19	20	21	22	23	24
		議会運営委員会		本会議 (一般議案等採決)		
25	26	27	28	29	30	10/1
	決算審査委員会 (第3セクター) (総務関係) (社会文教関係) (経済建設関係) (市長総括質疑)					
2	3	4	5	6	7	8
	議会運営委員会		本会議 (一般会計決算議案等採決)			

※請願・陳情の提出期限は9月1日です。

※変更等の場合は、ホームページ・エフエムしばた等でお知らせします。

※一般質問2日目及び3日目は、一般質問の通告議員が多い場合に行います。

本会議を生中継しています

本会議（定例会のみ）の開始（午前10時）から終了まで中継しています。

①FM放送

エフエムしばた（76.9MHz）で生放送します。



②インターネットサイマルラジオ

右の二次元コードまたは、エフエムしばたのホームページのバナーから聴くことができます。



③インターネット生中継

市議会ホームページで生中継します。下の二次元コードまたは「新発田市議会」で検索し、「本日の議事中継」からご覧ください。



市議会ホームページはこちらから

新発田市議会



<https://www.shibata-shigikai.jp/>

ホームページで市議会を紹介しています

<https://www.shibata-shigikai.jp/>

市議会のホームページでは、市議会のしくみや議員名簿、議会日程等を掲載しています。

本会議や常任委員会で議員の質問や市長等の答弁を記録した「会議録」を検索閲覧することができます。スマートフォンやタブレット端末でも検索できます。他にも、「市議会だより」のバックナンバー（83号以降）を見ることができますので、ぜひご覧ください。

なお、このたびの6月定例会の会議録は、9月上旬頃に掲載予定です。

また、これまでの会議録(冊子)は、市立中央図書館(イクネスしばた内)に設置されています。





SHIBATA TOPICS

キラキラ輝く若いチカラ



ここ(農高)で学んだことを生かせる仕事に就きたい！



①



②



③

表紙写真

五十公野公園あやめ園をていねいに見学し、
新発田農業高校の皆さんが改良の提案を

絵本のような世界を、車椅子の方も楽しめるように！

表紙／環境科学科には主に鉢花の生産販売を学ぶ草花園芸専攻と主に切花の生産販売を学ぶフラワーデザイン専攻があり、2年生は各19人合計38人が学んでいる。どちらも卒業後の仕事に直結する即戦力を育てている。裏表紙／①見学会では市職員が難しい「株分け」の方法を実演指導する場面も。アヤメ類は定期的に「株分け」を行わないと根詰まりを起こして生育不良で花が咲かなくなることもある。②見学会の意見交換会では「車椅子の方が道からもよく見えるように双眼鏡を設置したら」など、活発な意見が出ていた。③「見学会はとにかく楽しかった。学んだことを生かしてプライダル・コーディネーターになりたい」（向かって左・宮野葵さん）、「デザイン力を生かせる仕事に就きたい。そのためにここ（農高）を選んだんですから」（本間奏音さん）と、将来の目標と学業をしっかりリンクさせていたのが印象的だった。

「すごくきれい。でも、遠くから見るのと、近くで見るのと全然、表情が違う」「車椅子の人のために、遊歩道を舗装したら…」「絵本（の世界）に迷い込んだみたいないレイアウトだともっとステキ」など、ほぼ満開の五十公野公園あやめ園で、様々な感想や提案が飛び交っていたのは、新発田農高の草花園芸専攻およびフラワーデザイン専攻の生徒さんたちの見学会。あでやかなハナショウブやキリリとしたカキツバタ以上に明るく美しい農高の生徒さんたちに、市の維持管理課の係員がさらなる改善・改良のための意見を聞くために催したのだ。見学会には管理担当者との専門的な意見交換会も催された。市は「農高の生徒さんとの初コロボです。生徒さんとの意見交換の結果を畑作りの1区画に生かしたい」という。約6千500㎡と広大なあやめ園であり、予算の制限もあるだろうが、すでに評価の高い五十公野公園あやめ園がさらに評価され、市民のみならず多くの人たちの憩いの場となることを期待したい。なお、新発田農業高校の現状についてはHPを参照してください。

新発田農業高校

検索

編集後記

6月に40度を超える猛暑、梅雨明けの史上最短の記録など、気候変動が強く感じられるこの頃です。猛暑日には熱中症にご注意を。さて、正式に発足した広報広聴委員会は、144号の編集からスタートです。表紙には若いエネルギーをみなさんにお届けしようと農高生に登場していただき、巻頭特集は学校教育を取り上げました。どちらも

取材しての編集です。取材を快く受け入れていただいていたありがとうございました。生の声を聞くことで、新たな発見や学ぶことがあり、「ヨミネスバた」が生きてきます。市民の方が「あやめちゃん」のマスコット人形を作られるなど、議会報がみなさんと議会を結ぶようにとダッシュ！

（文責・加藤和雄）

【広報広聴委員】委員長／宮崎光夫 委員／板倉久徳・阿部聡・小林誠・加藤和雄・石山洋子